

サヴィニャック

パリにかけたポスターの魔法

SAVIGNAC 1' enchanteur



①《牛乳石鹸モンサヴォン》1948/50年 パリ市フォルネー図書館所蔵

© Annie Charpentier 2018

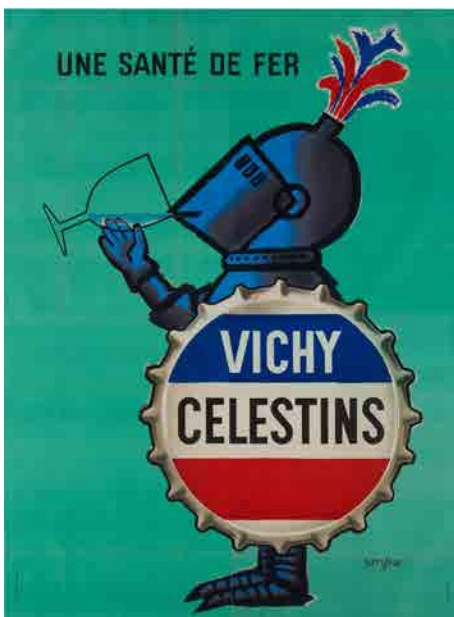
三重県立美術館 Mie Prefectural Art Museum

2018年6月30日(土) - 9月2日(日)

フランスを代表するポスター作家であり日本にも多くのファンをもつレイモン・サヴィニャック（1907-2002）のかつてない大規模個展が、この夏、三重にやって来ます。



②《ひとりでに編める ウット毛糸》1949/1951年、
パリ市フォルネー図書館所蔵
© Annie Charpentier 2018



③《ヴィシー・セレストアン：鉄のように頑健》
1963年、パリ市フォルネー図書館所蔵
© Annie Charpentier 2018

1949年、ベルナール・ヴィルモとの二人展で発表した《牛乳石鹸モンサヴォン》のポスター原画が、モンサヴォンのオーナーの目にとまり、広告へと正式採用されました。遅まきの成功の後、1950年代から60年代にかけては、ビック、チンザノ、シトロエン、ダンロップ、ミシュラン、ティファール、プチ・バトーといった企業の広告を数多く手がけ、代表作を次々に生み出しました。

サヴィニャックのポスターは、シンプルな造形とあざやかな色彩、そしてかわいらしくユーモアあふれる表現を特徴としています。その一見素朴なポスターは、広告する製品の魅力を強くアピールするための最良のモチーフや構成が、選び抜かれてデザインされています。

本展では、その表現の秘密にせまるため、作品を年代順ではなく、「動物」、「子ども」、「働くヒト」といったモチーフや「指さすヒト」といった表現方法、「ビック」「自動車」といった製品ごとにセクションを設けて紹介します。実際に街を飾った大型ポスターや、当時のパリの景観写真、原画や資料、遺品等もあわせて200点以上におよぶ展示品により、サヴィニャックの人物と作品の魅力に迫ります。

陽気で心躍るサヴィニャックの作品は、展覧会をおとずれる人にもきっと、ポスターの魔法をかけるでしょう。

基本情報

会期 2018年6月30日(土) - 9月2日(日)

会場 三重県立美術館 企画展示室(三重県津市大谷町11番地)

休館日 毎週月曜日(ただし7月16日は開館)、7月17日

開館時間 午前9時30分 - 午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料 一般1,000(800)円 学生800(600)円 高校生以下無料
()内は前売りおよび20名以上の団体割引料金

交通 近鉄・JR津駅西口から徒歩約10分

主催: 三重県立美術館 読売新聞社 美術館連絡協議会

後援: 在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本 公益財団法人三重県立美術館協力会

特別協力: パリ市 協力: 日本航空

特別協賛: 大日本印刷

協賛: ライオン 損保ジャパン日本興亜 サントリーコミュニケーションズ株式会社

企画協力: DNPアートコミュニケーションズ

展示構成

I. ポスターの魔術師

サヴィニャックが誕生するまで

1. 子どものころの思い出
2. カッサンドルに学ぶ
3. 戦時中・戦後の時代
4. サヴィニャックと出版物



④《ビック：新しいボール(スイス版)》1960年、パリ市フォルネー図書館所蔵 © Annie Charpentier 2018

II. 10の項目から見つめる

サヴィニャックのポスター

- ベルナール・ヴィルモとの二人展
- ①動物たち
- モンサヴォンポスターの誕生
- ②オトコの人、オンナの人
- ③働くヒト
- ④製品に命を吹き込む
- ⑤子どもたち
- ⑥指差すヒト
- ⑦自動車とその時代
- ⑧タバコ
- ⑨ビック(ボールペン)
- ⑩パリ

レイモン・サヴィニャック Raymond Savignac

- 1907年** 11月6日パリに生まれる。
- 1920年** 中学では商業科のクラスに入るが好きになれない。
自転車競技に夢中になるもチャンピオンになる夢はあきらめる。
- 1923年** TCRP（パリ公共輸送公団）のトレース係となり、夜学で工業デザインを学ぶ。
- 1925年** ロルタック広告アニメーションスタジオに入社。
- 1928年** 1年半の兵役に服する。
- 1929年** 兵役を終えてロルタックのスタジオに戻る。
ポスターデザインを試みながら数年の間取るに足りない仕事を続ける。
- 1933年** 大胆にもカッサンドルの門を叩き自分の作品を見せる。カッサンドルはその場でアシスタントとして雇い、1938年までコラボレーションは続く。サヴィニャックの経歴の最初の転機となる。
- 1938年** モンルージュのドレジェール兄弟印刷所にポスターデザイナー兼下絵制作者として入社。
- 1939年** 第二次世界大戦宣戦布告と同時に召集される。
- 1940年** マルセル・メルシエと結婚。敗北と休戦の後、パリに復員する。
- 1943年** ロレアルの社長ウージェーヌ・シュレールのアートディレクターであるロベール・ゲランの口利きで広告コンソーシアムに入社。
- 1944年** コンソーシアムの仕事をしながら、広告会社アルジャンヴィックとも活発に仕事をする。
- 1947年** コンソーシアムを解雇される。
- 1948年** ベルナル・ヴィルモと再会。ヴィルモは行き場のないサヴィニャックを自分のアトリエに誘う。
- 1949年** ヴィルモと二人展を開催し、大きな成功を収める。この展覧会でウージェーヌ・シュレールはモンサヴォン石鱈の牝牛を発見し自社の広告に採用、サヴィニャックはポスター作家として真のデビューを果たす。
- 1950-60年代** サヴィニャックの最も有名な作品が次々と生まれたのは50年代と60年代。60年代の終わりには、広告代理店好みの写真ポスターに押しやられる形で手描きポスターは衰退の一途をたどる。サヴィニャックの活動もその影響を受けるが、それでも多くのポスターや他の仕事も手掛ける。
- 1981年** 「前へ！シトロエン」キャンペーンの注文を受ける。1984年まで続いたこの仕事が、サヴィニャックの最後の商業的な大成功となる。
- 1982年** サヴィニャックは妻と共にノルマンディー海岸のトゥルーヴィルに移住。この街で皆に大歓迎され充実した晩年を過ごす。地元からフランス国内外からそして日本から仕事は途切れることがなかった。大小様々な展覧会が次々開催される。
- 2002年** 10月31日、サヴィニャックは町の英雄としてトゥルーヴィルで皆に惜しまれながら亡くなった。



©Robert Doisneau/ Gamma-Rapho

展覧会のみどころ

パリの街角を飾った超大型ポスターが来日

パリ市フォルネー図書館の協力の下、大きいもので約3×4メートルにもおよぶポスターの来日を実現しました。リトグラフの技法で作られた当時のポスターは、現代の印刷物では味わうことのできない鮮やかさや風合いがあります。パリの街角のポスターに、約半世紀のときを超えて出会う喜びを堪能してください。



⑤《ヨープレート》1965年、パリ市フォルネー図書館所蔵
© Annie Charpentier 2018

10のテーマで独自のグラフィック手法にせまる

主にフランスの所蔵者よりお借りした200点あまりの作品を、年代順ではなく10のセクションに分けて楽しく紹介します。「動物」、「子ども」、「働くヒト」といった作家の定番のモチーフに加えて、「指さすヒト」や「製品と一体化したヒト」といった表現方法、「ビック」「自動車」などの製品ごとに作品を展示し、「どのようにメッセージを伝達するか」を視覚的に追求した本作家独自のグラフィック手法に迫ります。



⑥《フリジェコ：良質の冷蔵庫》1959年、パリ市フォルネー図書館所蔵
© Annie Charpentier 2018

当時の写真や資料を通して多角的に紹介

本展では、実物のポスターに加えて、木村伊兵衛らによる当時の景観写真を展示し、サヴィニャックのポスターがパリの街角をいかに彩ったかをご覧ください。また、作家の生い立ちや素顔がかいま見える写真や、アトリエに残されていた道具類といった様々な資料を通して、作品だけでなくサヴィニャックの人となりに触れていただける展示です。



⑦木村伊兵衛《ポスターのあるパリ風景》1954年、2017年リプリント
写真（ゼラチンシルバートリント）木村・田沼コレクション
写真：木村伊兵衛

関連イベント

子どもワークショップ

「ポスターにしてつたえよう。」

気持ちをこめたポスターをつくろう。
絵具や色紙、新聞紙など、身近な素材で作ります。

7月28日（土） 午後2時～ 要申込・参加無料

講師：溝田尚子（グラフィックデザイナー）

定員：15名

対象：小学生 ※小学1～3年生は保護者同伴

会場：三重県立美術館 美術体験室



⑧《ドップ：清潔な子どもの日》1954年、パリ市フォルネー図書館所蔵

© Annie Charpentier 2018

申込方法：往復はがきの往信文面に①参加者のお名前②学年③保護者のお名前④ご住所⑤当日つながる電話番号を、返信宛名面に 返信先住所 を明記し、

〒514-0007 三重県津市大谷町11 三重県立美術館「サヴィニャック展ワークショップ係」

までお送りください。

7月6日（金）必着 申込多数の場合は抽選。はがき1枚につき2名まで応募可。

ギャラリー・トーク

本展担当学芸員が展覧会や作品の魅力について分かりやすくお話しします。当日の観覧券をお持ちの上、企画展示室入口へお集まりください。

7月7日（土）、8月5日（日） 午前11時～

7月22日（日）、8月25日（土） 午後2時～

聴講無料／事前申込不要／約30分間

ミニ創作コーナー

サヴィニャックのポスターを参考に、食べものや商品のイメージに色紙を貼ったりキャッチコピーをつけたりしながら、ユーモアたっぷりのデザインをつくってみましょう。



⑨《ジターヌ》1954年、パリ市フォルネー図書館所蔵

© Annie Charpentier 2018

会期中随時開催／申込不要／参加無料

会場：美術館エントランスホール

託児サービスのお知らせ

以下の日程に、無料の託児サービスを実施します。

7月7日（土）、8月5日（日）

各日午前10時～12時 事前申込制

場所：美術体験室（B1F、レストラン横）

定員：10名 対象：1～5歳児

スペシャルランチ

館内のレストラン「ミュゼ・ボンヴィヴァン」では、期間中限定で展覧会にちなんだスペシャルランチをご用意します。

※託児サービスの申込方法やスペシャルランチの詳細は、美術館ウェブサイトをご覧ください。



⑩《1951年、パリ誕生2000年記念》1951年
パリ市フォルネー図書館所蔵
© Annie Charpentier 2018

広報用画像について

本プレスリリースに掲載の①～⑪の画像を広報用に提供します。

ご希望の方は下記注意事項をお読みのうえ、ご連絡ください。ご希望の図版データをお送りいたします。

- ・ 作品画像のトリミング、文字載せはご遠慮ください。
- ・ 画像下部に記載の作品情報とクレジットを必ず併記してください。
⑦以外の作家名は全て「レイモン・サヴィニャック」です。
- ・ 掲載物（紙面、録画メディア）を一部美術館にご寄贈ください。
- ・ 画像の二次使用、転載はお断りいたします。提供したデータは広報目的以外には使用しないでください。
- ・ ウェブサイト上に掲載する場合は、コピーガードをかけ、無断転載禁止の旨を明記してください。

今後の巡回予定

兵庫県立美術館

2018年10月27日（土）～12月24日（月・祝）

広島県立美術館

2019年1月5日（土）～2月11日（月・祝）

巡回館の入館料、イベントなどの詳細は、各館へおたずねください。



⑪《ルノー4》1963年、ティエリー・ドゥヴァンク・コレクション
© Annie Charpentier 2018

お問い合わせ

三重県立美術館 学芸普及課 貴家映子（さすが・えいこ） 太田聡子（おおた・さとこ）

〒514-0007 津市大谷町11番地 三重県立美術館 学芸普及課

Tel:059-227-2100（代表） Fax:059-223-0570

e-mail:sasuge00@pref.mie.jp（貴家）、bijutsu3@pref.mie.jp（太田）